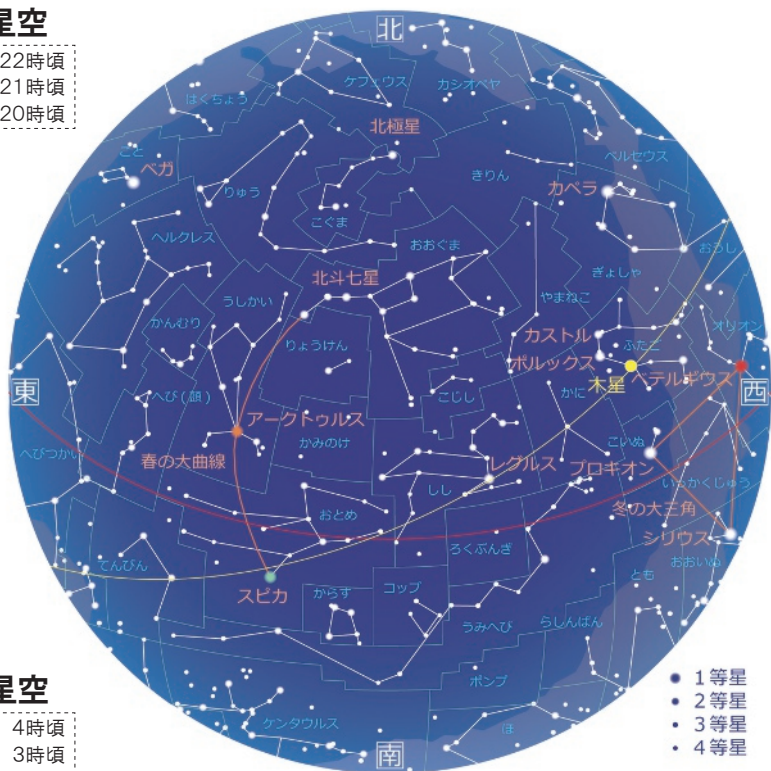


星空ガイド 4月16日～5月15日

よいの星空

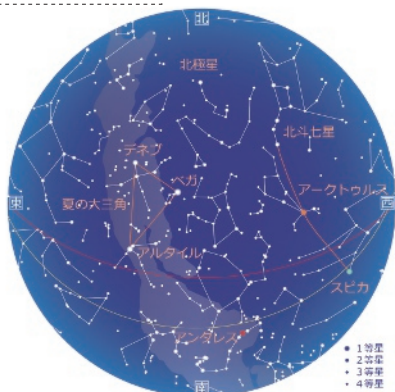
4月16日22時頃
5月 1日21時頃
15日20時頃



- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星

あけの星空

4月16日 4時頃
5月 1日 3時頃
15日 2時頃



【太陽と月の出入り(大阪)】

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
4	16	木	5:25	18:30	4:23	17:12	28.1
	21	火	5:19	18:34	7:47	23:16	3.6
	26	日	5:13	18:38	13:27	2:13	8.6
5	1	金	5:08	18:42	18:28	4:24	13.6
	6	水	5:03	18:46	23:08	7:42	18.6
	11	月	4:58	18:50	1:27	12:42	23.6
	15	金	4:55	18:53	3:19	17:10	27.6

※惑星は2026年5月1日の位置です。

春の夫婦星は近づいている？

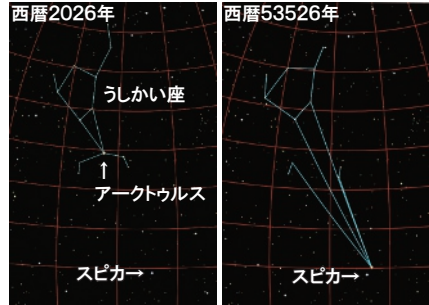
春の夜空に輝くアークトゥルスとスピカ。作家の小川未明は小説「牧羊者」の中で、アークトゥルスの黄金色を情熱に燃える男星、スピカの青白さを愁いに沈む女星に例え、アークトゥルスとスピカの二つの星を夫婦星になぞらえました。夏に見頃を迎える織姫星・彦星に対して、こちらを春の夫婦星と呼ぶこともあります。

そんな二つの星が、夫婦のように隣り合うなどということは、ありえるのでしょうか。にわかには信じられないかもしれませんが、アークトゥルスはスピカに少しずつ近づいているのです。

実は恒星は、ほんの僅かずつ位置を変えています。こうした恒星それぞれの動きを固有運動と言います。固有運動は非常に小さいため、私達が一生のうちに体感することはできません。しかし恒星の位置を継続的に高い精度で測定することで、その動きを知ることができます。そしてアークトゥルスは、一年で2.3秒角ほどスピカに向かって動きます(1秒角は1°の3600分の1)。アークトゥルスの固有運動は他の恒星と比べて特に大きいのですが、それでもスピカのすぐ近くにやってくるまでには、5万年ほどかかります。

ところで恒星までの距離もまた、それぞれ異なっています。アークトゥルスまでの距離は約37光年、スピカまでの距離は約250光年です。つまり見かけ上近くにあったとしても、本当に傍にあるとは限りません。とは言え一等星2つが並んでいる光景は、現代の星空からすれば不思議な感覚です。5万年後の星空を実際に見ることは叶いませんが、長い時間をかけて移り変わる恒星の動きに思いを馳せながら、春の星々を見上げてみるのはいかががでしょうか。

三田村 耕平(科学館学芸スタッフ)



画像:StellaNavigator/アストロアーツ

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
4	16	木	明方に月と水星と火星と金星がならぶ
	17	金	●新月(21時) 土用の入(太陽黄経27°)
	19	日	月が今月最近(15:56・361720km) 夕方に月と金星がならぶ
	20	月	穀雨(太陽黄経30°) 明方に低空で火星と土星が接近
	21	火	明方に水星と火星と土星が接近
	22	水	月と木星がならぶ
	23	木	こ座流星群が極大(4時)
	24	金	●上弦(12時)

月	日	曜	主な天文現象など
4	24	金	金星と天王星が接近
	26	日	月とレグルスがならぶ
	29	水	昭和の日
5	2	土	○満月(2時)/八十八夜
	3	日	憲法記念日
	4	月	みどりの日
	5	火	こどもの日/立夏(太陽黄経45°) 月が今月最遠(17:30・405926km)
	7	木	みずがめ座η流星群が極大
	10	日	●下弦(6時)
	14	木	明方に月と土星がならぶ 水星が外合